



**平成30年度有田市人権啓発標語コンクール**

先日、平成30年度有田市人権啓発標語コンクールがおこなわれました。有田市内の小中学校から合計1288作品の応募があり、本校からは、6年生桑原玲花さんの作品が入選しました。おめでとうございます。なお、表彰式は11月12日(月)16時より消防庁舎5F多目的会議室で行われます。



氏名	作品
桑原玲花さん(6年)	守ろうよ 大事な友達 いじめから

**有田市社会福祉協議会による福祉出前授業(高齢者理解教室)**

10月11日(木)2時間目、本校では有田市社会福祉協議会のスタッフにおこしいただき、6年生を対象に福祉出前授業(高齢者理解教室)を行いました。



今回の授業で児童達は、高齢者の特徴、高齢者を支える制度や施設についての講義を聴き、高齢者やその気持ちを理解し、これからの生活の中で自分たちにできることを考えたりしました。

子ども達は今回の学習を経て、この後校区内の2か所の老人福祉施設を2度ずつ訪問することになっています。一連の学習や活動を通し、思いやり、共生、相互扶助等の精神について実感的に学び、主体的に社会に参画できるやさしく寛容な大人になってほしいと考えています。

**梅の授業**

10月15日(月)4時間目、田辺市にある梅干し製造会社「丸惣」の社長さんを講師にお招きし、3年生を対象に総合的な学習の時間に出前授業「梅の授業」を行いました。今回の授業で児童達は、和歌山県が日本一の梅の産地であること、梅干しがとても体に良い食品であること、梅干し製造の歴史や作り方等について学習しました。また当日「丸惣」さんよりいただいた梅干しは給食に活用させていただきました。



児童達には、ミカンやカキとならぶ和歌山県の主要農産物である梅について正しい知識を持ち有効活用することで、食生活の充実と健康増進に努めてほしいと思います。

## 有田市社会福祉協議会による福祉出前授業【認知症理解教室】

10月16日（火）2～3時間目に、有田市社会福祉協議会とサンライズケア有田のスタッフ3名におこしいただき、6年生を対象に福祉出前授業（認知症理解教室）を行いました。

今回の授業で児童達は、講義や、グループワーク、ロールプレイング等を通し認知症について福祉面・医療面から学習しました。認知症の特性を理解し、認知症になった人の気持ちを推しはかり認知症の人に接する方法等について考え学びました。子ども達には今回の学習を通し、また今後の様々な学習や体験を通し、思いやり、共生、相互扶助等の精神について学び、主体的に社会に参画できるやさしく寛容な大人になってほしいと考えています。



## 図書館教育有田地方研修会（兼文成中・宮原小・糸我小3校合同教員研修会）

10月17日（水）午後、本校で図書館教育有田地方研修会（兼文成中・宮原小・糸我小3校合同教員研修会）が開催され、本校の辻本敦子教頭と森澤春代教諭が本校の図書館教育の実践について発表しました。

発表内容は、今夏の近畿図書館教育セミナーで辻本教頭と森澤教諭が発表した内容で、地元有田地方の教員の皆さんにも本校の取り組みについて知っていただき、本地方小中学校図書館教育振興の一助になればと考え開催されました。

当日は3校の教員を始め、有田川町の教員や有田市内の各学校司書約50名の参加があり、辻本教頭と森澤教諭の発表を受け熱心な協議が行われました。図書館教育の充実を学校運営の主要な柱の一つに掲げる本校ではこれを機に、今後ますます図書館教育の充実に入力していきたいと考えます。

